

雑誌『獣医神経病 On-line』投稿規定

1. 雑誌『獣医神経病』および『獣医神経病 On-line』と投稿論文

雑誌『獣医神経病』および『獣医神経病 On-line』（以下、併せて本誌）とその投稿論文は獣医神経病学領域に関するもので、神経病の臨床と研究の発展に寄与する内容であるものとする。

2. 投稿者

本誌への投稿は原則として本会会員に限る。また共著者に本会会員を含むことで投稿を認める。

3. 論文の種類

投稿論文の区分および文字数の上限は次の通りとする。図表は各 300 字として換算する。

- (1) 総説 (Review) : 最近の内外の研究または論理的技術的な知識を総合してまとめたもの、解説的な内容の論文。(15,000 字)
- (2) 原著 (Original Article) および短報 (Short Communication) : 未発表の研究論文。(原著 : 12,000 字, 短報 : 9,000 字)
- (3) 症例 (Case Report) : 症例報告など実際的な内容のもの。(9,000 字)
- (4) 臨床ノート (Clinical Note) : 臨床の現場における経験, アイディア, 常用処方などを記載したもの。(5,000 字)
- (5) 技術講座 (Technical Lecture) : 検査, 診断, 治療などについての技術または知識を各論的に解説したもの。(12,000 字)
- (6) 質疑応答 (Discussion Room) : 症例の診断, 治療や診断法, 治療法などについての投稿者からの質問に対し, 各会員からの応答に関する記事。(症例提示や質問事項の背景や質問として 3,000 字)
- (7) 文献紹介 : 論文, 著書などの紹介。(800 字)
- (8) 会報, その他。

4. 論文の採否

投稿論文の採否は本会事務局および事務局から指名された審査員 (2 名) の決定に基づく。実験研究等の論文において、動物の取扱いに倫理上の問題がある論文は採択しない。投稿論文で用いられる動物実験は、著者の所属機関に設置された然るべき委員会で認可されていること (また、必要に応じて本文にその旨を記載すること)。

5. 原稿の体裁

- (1) 原稿は用紙設定を A4 版・縦長とした Microsoft Word ファイル (.doc, .docx) あるいはテキストファイル (.txt または .rtf) により作成し、文字サイズに 12 pt, フォントに一般的な明

朝体あるいはゴシック体を用いる。また投稿時の原稿はダブルスペース（2行間）で作成すること。本文（図表以外の表題～参考文献，図表解説を含む）のファイル名には「原稿（著者名）.doc」など判りやすいものを付けること。

- (2) 原稿の第1項には，原稿区分（上記3参照）を明記し，次いで論文表題，著者名（共著者も含む），所属機関，その所在地，連絡先（電話番号，FAX 番号およびE-mail アドレス）を記す。
- (3) 第2項より，原著論文では1. 要約，2. キーワード（5語以内），3. 序論，4. 材料および方法，5. 結果，6. 考察，7. 参考文献とし，最後に図表解説を付ける。図表は別ファイルとする。症例や臨床ノートなどの原稿は要約，キーワードおよび参考文献を除き，この様な項目分けの必要はないが，必要に応じて項目分けを行っても良い。（例：症例. 1. 要約，2. キーワード，3. 症例，4. 考察，5. 参考文献）。論文が採択され，公表が決まった場合には英文要約を必要とするが，初回提出時には特別必要としない。
- (4) 外国の地名，人名などは言語のままとし，動植物・微生物の学名などは書体をイタリックあるいはアンダーラインを付けて表記する。
- (5) 数字は算用数字とし，単位およびその記号は原則として国際単位系（SI）に従い下記のように記し，略語も同様にしてピリオドは付けない。M, mM, μM, N, %, m, cm, mm, μm, nm, pm, cm², l, ml, μl, kg, g, mg, μg, ng, pg, hr, min, sec, msec, rpm, Hz, cpm, dpm, ppm, °C, cal など。
- (6) 略語のうち，常用的なもの以外は，本文初出の際に完全綴りを併記する。
- (7) 参考文献は本文に初出した順に肩付き番号を付け，末尾に一括する。著者が4名以上の場合は，最初の3名で打ち切り，ら。あるいは et al. を付ける。雑誌の場合は著者名. 題名. 雑誌名 巻：初項-終項，西暦年. の順とする。雑誌名は医学中央雑誌，Index Medicus の略名に従うこと。単行本は著者名. 書名. 版数. 発行地：出版社，西暦：pp. 初項-終項. 編著本は著者名. 題名. In:編者名, ed(s) (邦本の場合は編者名編). 書名. 版数. 発行地：出版社，西暦：pp. 初項-終項. の順とする。

雑誌（例）：

1. Hasegawa D, Yamato O, Kobayashi M, et al. Clinical and molecular analysis of GM2 gangliosidosis in two apparent littermate kittens of the Japanese domestic cat. J Feline Med Surg 9:232-237, 2007.

2. 安東真里, 松永悟, 望月学, ら. 犬の椎間板脊椎炎の1症例におけるMRI 所見. 獣医神経病 9:13-18, 2004

単行本（例）：

3. Bagley RS. Fundamentals of veterinary clinical neurology. Iowa:Blackwell, 2005: pp. 151-175.

4. Bagley RS. イヌとネコの臨床神経病学. 徳力幹彦監訳. 東京：ファームプレス, 2005 : pp. 151-175.

編著本（例）：

5. Dudek FE, Clark S, William PA, et al. Kainate-induced status epilepticus: A chronic model of acquired epilepsy. In: Pitkanen A, Schwartzkroin PA, Moshe SL, eds. Models of seizures and epilepsy. London

6. Sharp NJ, Wheeler SJ. 腰仙椎障害. In: Sharp NJ, Wheeler SJ, eds. 犬と猫の脊椎・脊髄疾患-診断と外科手技, 第2版. 原康監訳. 東京: インターズー, 2006: pp. 187-216.

(8) 図・表は本文とは別ファイルとし, それぞれの図表のファイルに図1 (Fig. 1), 表1 (Table 1), 図3A等のファイル名を付ける. 図はJPEG (.jpg) あるいはTIFF (.tif) ファイルとし, 解像度は300dpi程度, ファイルサイズは2MBを超えないこと. 表はMicrosoft Excel

(.xls, .xlsx), Microsoft Word (.doc, .docx), あるいはテキストファイル (.txt または .rtf) で作成すること. また, 図表の解説は本文の最後 (参考文献の後) に記載すること.

(9) 謝辞またはこれに準ずるものは, 考察と参考文献の間に項を設け記載する.

6. 原稿の投稿

上記の原稿の体裁に従い作成した本文および図表ファイルを獣医神経病研究会事務局

(jimu@shinkei.com) まで添付ファイルとして原稿を添付し, e-mail にて送付すること. その際, e-mail の件名には「獣医神経病論文投稿」など判りやすい件名を付けること. またファイルの容量制限などにより全てのファイルを一括して送付できない場合にはe-mailを分割して送付するか, あるいは大容量ファイル転送サービス等を利用して送付すること (原稿ファイルの送付がうまく行えない場合は, その旨を事務局に相談すること). また e-mail を利用できない, あるいは e-mail での原稿送付が困難な場合は, 原稿ファイルを焼き付けた CD あるいは DVD を下記の事務局まで郵送されたい.

7. 費用

本誌の投稿および審査, 掲載は無料である. 但し, 以下のものは著者負担とする.

(1) 原稿を郵送で送付する場合の郵送費

(2) 論文が冊子体となった際の別刷り代 (費用はページ数による)

8. 問い合わせ

その他, 論文投稿に関わる問い合わせは獣医神経病研究会事務局まで e-mail, FAX あるいは郵便にて受け付ける (電話での問い合わせは受け付けない).

獣医神経病研究会事務局

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町 1-7-1 日本獣医生命科学大学獣医放射線学教室内

E-mail : jimu@shinkei.com FAX : 0422-31-5513